

鉄道の限らない未来。 私たちは、そこにある安全と快適を どこまでも追求し続けます。

The ever-expanding future of railways—we are committed to making railway transport safer and more comfortable.



時代の先端を行く技術サービスを提供して、 鉄道の未来に貢献します

代表取締役社長 遠藤 隆

環境の時代といわれる今日、鉄道の果たす役割は益々高くなり、さらなる利便性・快適性・効率性・環境適合性の向上が求められています。

当社は、鉄道車両及び機械設備の総合エンジニアリング会社として、独自の技術をベースに、良質で時代の先端を行く技術サービスを提供しています。

1968年に、日本交通機械株式会社として設立されて以来、車両及び機械の保全・工事を担う会社として、事業の範囲・規模を着実に伸ばしてきました。2000年には、社名を東日本トランスポート株式会社と変更し、JR東日本グループの中において、技術によって21世紀の新しい時代を切り拓く会社を目指しています。

具体的には、鉄道車両と機械設備に関して、技術開発・

設計・コンサルティングから工事、製造、メンテナンスまで一貫して担う「車両・機械のライフサイクルエンジニアリング企業」を目指すものであり、その実現に向けて着実に施策を展開してきました。また、約10年後の当社の在るべき姿を見据えて策定した「E-TEC経営ビジョン2020」では、安全と品質を基盤におき、チャレンジな事業展開の目標を掲げて、新たなステージに踏み出しています。

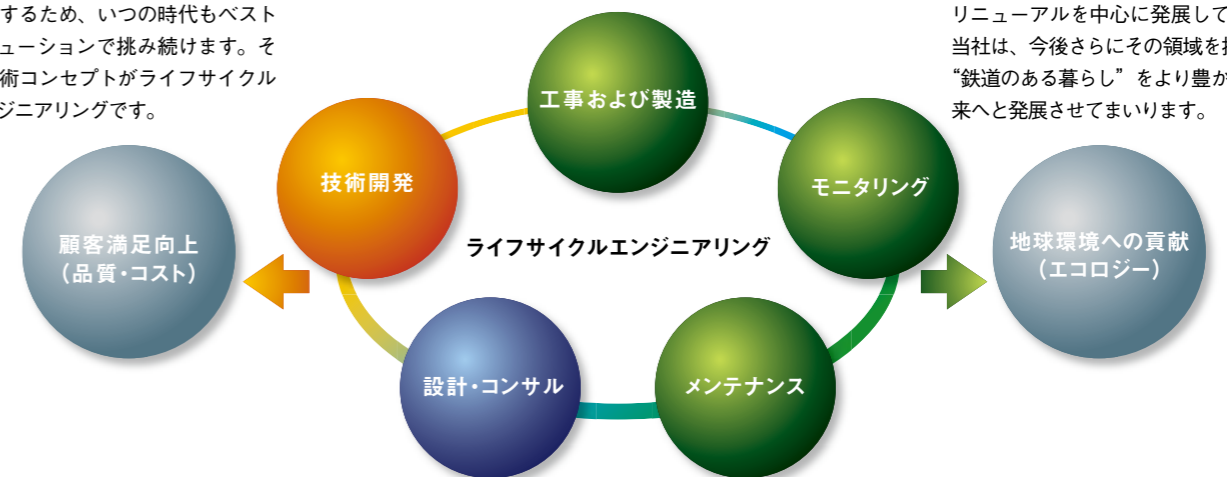
私たちは、お客様の施策に的確かつスピーディーにお応えするテクノパートナーとしての役割を担い、常に前進する企業でありたいと考えております。

お客様各位におかれましては、一層のご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

車両・駅設備分野の技術サービスを提供する総合エンジニアリング会社として、独自の技術をコアに事業を展開してまいります。そのベースとなるのが“ライフサイクルエンジニアリング”という技術コンセプトです。

お客様とのサステイナブルな関係を構築するため、いつの時代もベストソリューションで挑み続けます。その技術コンセプトがライフサイクルエンジニアリングです。

車両・駅設備のメンテナンスおよびリニューアルを中心に発展してきた当社は、今後さらにその領域を拡げ、“鉄道のある暮らし”をより豊かな未来へと発展させてまいります。



ライフサイクルエンジニアリングとは

車両や駅設備などを長期間、経済的に維持していくには、それぞれのライフサイクルに沿った計画的な運営・管理が欠かせません。最新技術をフルに活用した製品・システムの導入や運用、メンテナンスまで一貫してトータルにサポートすることでベストソリューションを提供し、低コスト化を実現します。ライフサイクルの各ステージにおいてエコロジーを追求することにより、地球環境への貢献を果たしていきます。